

登録コード	L1061200	開講年度	2026				
担当教員	金井 悠一郎			副担当			
授業科目	法律学Ⅱ						
英文授業名	Jurisprudence Ⅱ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	月曜・1時限
講義室	経法第1講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			⇔	物権法に関して、これまで蓄積された法的知識、法理論に基づいて論じられるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多元的に判断することができる受容力			⇔	物権法に関する問題事例に対して、物権法に関する法的知識、法理論を理解したうえで、解決のための法的思考を身につける。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	物権法に関する基礎的な法的知識、法理論を身につける。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	物権法に関する法的知識、法理論を理解したうえで、関連する判例を収集したうえで、法的知識に基づいて論じられるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	物権法に関する法的知識、法理論を基礎として、民法総則に関連する課題に対して、法的知識に基づいた解決策を提案できるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本講義では、民法のうち、物に関するルールを定める物権法について、条文の制度的理解及び条文解釈が中心となる。授業は、配布するレジュメによって進行する。						
授業計画	第1回 イントロダクション 第2回 物・所有権・物権的請求権 第3回 物権変動論①—総説、契約による不動産物権変動① 第4回 物権変動論②—契約による不動産物権変動②、不動産登記制度 第5回 物権変動論③—登記がなければ対抗しえない物権変動 第6回 物権変動論④—登記がなければ対抗しえない第三者 第7回 物権変動論⑤—動産物権変動 第8回 契約によらない所有権の取得・取得時効 第9回 占有権①—占有権の効力、占有権の移転 第10回 占有権②—占有訴権 第11回 所有権の効力①—物権の効力 第12回 所有権の効力②—相隣関係 第13回 共同所有関係 所有者不明土地・管理不全土地管理法 第14回 用益物権・入会権 第15回 まとめ・補足、授業アンケート 期末試験 ※ 授業の進捗状況によってシラバスの内容と前後する場合がある。						
成績評価の方法	平常点40%、期末試験60%とする。 平常点は、確認テスト、リアクションペーパー、レポート等によって評価する。						
成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「合格水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。						
事前事後学習の内容	事前の予習として講義の範囲について教科書、参考書、講義レジュメを読むこと。また、事後学習として講義内で聞いた内容を意識して再度文献を読み直して理解を深めること。 ※60時間以上の時間外学習が必要となります。						
履修上の注意	講義では、条文を適宜参照するため、六法等を持参し、すぐに条文を参照できるようにすること。その他の注意事項については、初回ガイダンスで案内する。本講義は、経法学部専門科目の民法総則・物権法との同時開講になる。専門的な内容になることを念頭に履修判断を行うこと。						
質問、相談への対応	講義終了後に受け付けます。						
教科書	佐久間毅『民法の基礎2 物権〔第3版〕』（有斐閣、2023年）定価 2,750円（本体 2,500円） ただし、2025年4月以降、新版が発行された場合には、その新版とする。詳細は、初回授業の時に案内する。						

参考書	①潮見佳男・道垣内弘人編『民法判例百選Ⅰ 総則・物権〔第9版〕』（有斐閣、2023年）定価 2,420円（本体 2,200円） ②高橋和之・伊藤眞・小早川光郎・能見善久・山口厚編集代表『法律学小辞典〔第6版〕』（有斐閣、2025年）定価 5,720円（本体 5,200円） ただし、2025年4月以降、新版が発行された場合には、その新版とする。このほかの参考書等の詳細は、初回授業の時に案内する。
-----	---